

【大学間協定留学】 留学近況報告書

記入日	2023年 11月 5日
留学先大学	南ユタ大学 (日本語名) Southern Utah University (現地言語名)
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している (以下に学部等名を記入) ※学部等名 (日本語) : 法 (現地言語での名称) : llegal study <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他 :
留学期間	2023年8月ー2024年4月
明治大学の所属学部等	法学部法律学科 (学部/学科/研究科/専攻等)
学年 (出発時の本学での学年)	3年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

出発前は主に留学体験記などを読むなどして、情報収集しました。英語で現地の授業や寮などを調べることはとても難しいと思います。準備不足だったことは住居についてです。私は寮やダイニングのシステムについて調べることなくプランを決めたので、そこについてはしっかりと調べておくことをお勧めします。

II-1. 留学のための渡航前手続き (留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類 : j1	申請先 : 米国大使館
ビザ取得所要日数 : 二週間弱 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用 : 4万円

1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

必要な応募フォームを米国大使館のホームページに記載されている通りに、完成させます。基本的には二つの応募フォームを入力し終えた段階で、面接予約確認書が手に入るのので、そこにパスポート (更新がある場合は忘れずに) と留学先から送られてくる DS-2019 という書類、5×5 サイズの証明写真を持参しすることで面接を受けることができます。

2. 具体的な申し込み手順を教えてください。

1 ビザの種類を留学先大学から送られてきた書類に従い決める (基本的に交換留学生は J1 だと思います) 2 オンラインで DS-160 申請書を作成する 3 ビザ申請料を支払う (学生ビザ 申請者は SEVIS 料金の支払いが必須) 4 面接予約をする

3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

自身の大学の学年と留学先大学の名前、そしてその期間を聞かれました。私の場合は日本語で質問されました。交換留学の場合は身元が保証されているので、そこまで厳しい面接はされないと思うので、面接自体に関しては心配する必要はないです。

4. ビザ取得に関して困った点・注意点

書類作成において、入力事項がとても多いので少し時間がかかりますが、決して難しいものではなかったです。困ったら、米国大使館のホームページを確認することをお勧めします。

II-2. 留学のための渡航前手続き (その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい (現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など)

大学についてから、SIM が支給されますが私の場合は、お金を払ってもその SIM を使うことがなぜかできず、返金要求をしても今現在されていません。(Mint mobile という会社の SIM でしたが私以外にもこの会社の SIM を利用できなかった人がいたのでこの SIM を使うことはお勧めしません。大学についてから、T mobile などの SIM を買うこともできますが、不安な方は日本にいる間に SIM を手に入れておくのもいいと思います。私は大学の近くにある tmobile の店頭で SIM を購入しましたが、人によっては Esim を利用している人もいます。

Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	アジアナ航空、ジェットブルー航空				
航空券手配方法	HIS ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入				
大学最寄空港名	ハリー・リード空港	現地到着時刻	17:50		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他 ()
移動の所要時間	四時間半				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等大学のシャトルバスが空港から出ているのですが、そのバスはその日のその時間、一本しかありません。キャンパスは空港からとても離れたとことにあるため、自力で行くのはとても大変です。私はそのバスに乗り遅れることを避けるため、前日に空港につき、ホテルで一泊することで、余裕をもって、バスに乗ることができました。早めについてラスベガスを観光するのも一つの手です。

大学到着日	8月23日12時頃
-------	-----------

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。	
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他 ()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋	<input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他 ()
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他 ()
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他 ()
住居の申込み手順	私は三月ごろに大学に様々な書類を提出する中で、希望の部屋などについての書類を出すように指示されました。その後、大学側から寮が提示され、そこに住むことに決めました。		

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

大学側から寮の空き住居を提供されたのが7月末と、とてもギリギリでした。また、一人部屋を希望したにも関わらず、大学側から提供されたのは相部屋でした。基本的にこの大学の寮で一人部屋を確保することは不可能に近いと考えた方がいいと思います。私は、相部屋が割り当てられてから、そのルームメイトを知らない人から、明治大学から一緒に行く人に変えてもらいました。ただ、一人部屋が本当に欲しい場合はオフキャンパスの住居を探すことをお勧めします。オフキャンパスは私の印象ですが、基本的に清潔で生活環境も整っていると感じます。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった	<input type="checkbox"/> なかった
日程	着いた次の日から二日間	
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須	<input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料	<input type="checkbox"/> 有料 (金額：)
内容の様子は？	ご飯を食べたり、キャンパスを見て回ったりしましたが、ほとんどは席に座って州の法律やクラスの登録方法など学ぶといった座学的なものでした。また、このオリエンテーションではISAという留学生を支援してくれる学生と出会うことができます。彼らはとても親切で、大学生活を送る上でのアドバイスを生徒目線でくれるので、参考にしてください。	
留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった	<input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	8月30日から	

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて**1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？**

特にありませんでした。

2. その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

健康診断はなく、予防接種や保険などについては日本から英文にした接種記録などをもっていったので、問題ありませんでした。そのような書類はオリエンテーションで提出することになります。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

開設しました。正直、口座開設は必須というわけではありません。海外送金には一度円からドルに換え、さらに海外送金という二重で手数料がかかるため、私は日本から持参したカードを主に使っています。ただ、wellsfargo という会社の銀行口座を作ることで、友達に送金するといったことを容易にしてくれます。費用は25ドル。即日開設することができますが、予約が必須です。予約はISAのメンバーがしてくれ、開設にあたってサポートしてくれました。開設にはパスポートと住居を証明する書類が必要で、その書類は寮に住んでいる場合 housing office で取得できます。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

今のところ、していません。

V. 履修科目と授業について**1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？**

出発前に（3月15日頃）

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他（ ）

到着後に（ 月 日頃）

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他（ ）

登録時に留学生として優先されることはありましたか？

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？**優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？**

私は抽選に落ちてしまいました。三月ごろに求められた書類に多くの希望クラスを記入していたため、問題はありませんでした。希望の書類を提出することで、大学側が自動的に履修登録を行ってくれました。

2. 出発前に授業を登録した方は、現地に変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

着いてから、授業を変えることはとても簡単なもので、そこまで最初の段階で慎重に選ぶ必要ありません。大学で先輩たちに相談しながら履修をすることもできます。さらに言うと、留学生は自身のメジャーを選ぶこととなりますが、私たちはあくまで留学生なので、自身の学部と関係ないものを取ることができます。

Ⅵ. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	起床		起床				
9:00	授業	起床	授業	起床	起床		起床
10:00	授業	授業	授業	授業	授業	起床	趣味
11:00	授業	授業	授業	授業			
12:00	昼食	昼食	昼食	授業	昼食	昼食	昼食
13:00	図書館	図書館	図書館	授業	図書館	自習	買い物
14:00				授業			
15:00				昼食			自習
16:00						サッカー	
17:00						サッカー	
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	友人宅で食事	夕食
19:00	体育館（ジム or バレー）	友達と映画	体育館（ジム or バレー）	課題	体育館（ジム or バレー）		予習
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

日本の大学に比べて、全体的にイベントが多いように感じます。また、多くの生徒が参加するため、友達作りやその友達と親しくなることは、多少言語の壁があろうとも、日本にいた頃より簡単だと私は感じました。また、この大学にはISA という留学生を支援する組織があり、オリエンテーションも留学生だけで行われるため、私たちのような留学生を受け入れる体制は予想以上に整っています。留学生同士で仲良くなることも多いです。

授業についてですが、私は国際日本学部出身ではないので英語で授業を受けることには慣れていませんでした。正直なところ、着いてからすぐに受けた授業では教授の言っていることの50%も理解できていなかったと思います。しかし、一か月ほどで慣れてきて、大体は理解できるようになりました。授業の内容自体はそこまで難しくなく、成績の評価方法も私の在籍している法学部のようなテスト一発ではなく、課題を毎週あるいは毎月出していくというような形式なので、比較的容易に単位を取ることができると思います。

生活に関してですが、私の住んでいる寮では大学にあるダイニングを利用することが義務付けられているため、基本的にはそのダイニングで食事を行っています。寮も大学から非常に近く、キャンパス内ですべてが完結しています。また、週に一回留学生向けにシャトルバスが近くのスーパーまで送り迎えをしてくれるので、買い物に関しても不自由は特にありません。また、一学期に30ドルほど払うことで郵便ボックスを使うことが可能で、アマゾンなどのサイトで購入することもできます。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

この大学はとても田舎にあるため、皆さんがアメリカと聞いて想像する都市部とは明らかに違いますが、だからと言って不便に感じることはなく、必要最低限のものはそろっています。私のような少し都会につかれた人間にとっては素晴らしい場所だと思います。

あまり、無責任なことは言えませんが、ここでの生活だけに関して言えば、心配する必要はないと思います。この大学に応募するためのTOEFLやIELTSのスコアがあれば、慣れないうちは少し苦労しますが、問題なく生活できると思います。また、多くの教授は私たちが交換留学生だと知れば、それなりの配慮をしてくださります。もし、英語での授業に不安がある場合は担当教授に留学生であることを伝えるのも良いと思います。私の場合、取っている授業の教授は皆親切で、授業の後に課題について詳しく解説してくれます。なので、もし現地での生活や自身の語学力の不安ゆえに留学を断念しようとしているのであれば、ぜひ諦めず志望して欲しいです。